

さざんか通信 Vol. 57

2023年 1月号



NPOたすけあいワーカーズさざんか

〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪401
TEL 5347-1234, 5347-1130 FAX 5347-1180
URL <http://www.npo-sazanka.org/>



発行責任者 吉田恵子

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

コロナ感染症も発症から3年が過ぎ、世の中的には観光やイベントが動き出した感がありますがまだマスクは手放せません。

さざんかの事業である移動支援で、先日も秋の日の2時間ほどを利用者さんと出かけました。風に揺れるコスモスや足下の落ち葉を踏むと、カサコソと軽やかな音になんとも癒やされるひとときでした。

さて「障害者虐待防止法」が平成24年に始まり、虐待は許されないことを明記し、すべての市町村に虐待防止センターが設置され通報の義務を課しています。

今年令和4年度には運営基準の見直しがあり以下が義務化となりました。

- 1) 従業者への研修の実施
- 2) 虐待防止委員会の設置
- 3) 虐待防止等の為の責任者の配置

さざんかの取り組みとしては「さざんか虐待防止マニュアル」の作成と同時にメンバー全員の研修をスタートさせました。

主な研修として

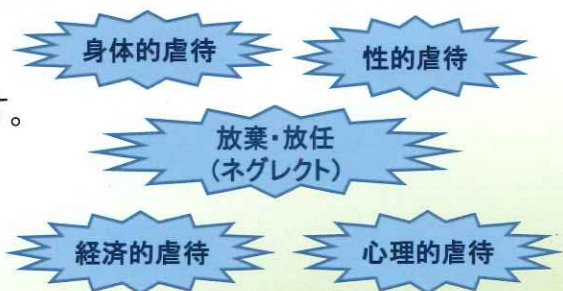
- ・虐待防止や人権意識を高める為の研修
- ・メンバーのメンタルヘルスの為の研修
- ・メンバー同士が支え合う風通しのよい職場づくりとは何か
- ・怒りの感情と上手に付き合い怒りの感情への対処法を身につける
アンガーコントロール

などが挙げられます。

他に事業における虐待の芽は日々のケアの中で起こる「小さな出来事」の中にあるといわれています。事例の中から何が課題（不適切なケア）かを一緒に考え適切なケアを目指します。

「虐待防止委員会」の設置は、委員長にさざんかの吉田代表理事を据え取り組んでいきます。役割として「虐待防止のための年間の計画作り」～「虐待（不適切な対応事例）発生後の検証と発生後の再発防止策の検討」を柱に実行に移してまいります。

日々のケアの中で我々ヘルパーが出来ることは多くはありませんが、継続して支援することでご利用者の皆様にとって心地よい日常の一助になれば幸いです。



障がい福祉サービス責任者
阿原美佐子

短歌・俳句コーナー

ビル街の筆の老舗の藍深き
のれんに白き 筆の絵鮮し

冬すさぶ日を 想い得ず北津輕
夏陽あまねく 風はてもなし

作者 横山 俊様

さぶさぶと洗ひあげたる冬菜かな

火の色となる逆光の冬紅葉

作者 美紗子様

習字コーナー



さざんかは働きたい方、
ボランティアしたい方を
応援しています

- ・身近な地域で働きたい
- ・やりがいのある仕事をしたい
- ・子育てをしながら働きたい
- ・自分のペースで柔軟な働き方がしたい
- ・地域でボランティアをしてみたい
- ・定年後は地域に貢献する仕事をしたい
- ・一週間に一〜二日くらい働きたい

一緒に働きませんか？

さざんかクラブ参加者の作品



賛助会員募集

『さざんか』の活動趣旨に賛同し、
応援して下さる方、
ぜひ賛助会員としてご入会ください。
個人年会費 一口 千円
法人年会費 一口 一万円
その他、寄付金での活動支援も
受け付けております。
ぜひ、ご協力をお願いいたします。